

渋川海岸におけるアクティブラーニング型の
研修プログラムの開発（海と日本2023）

事業報告書

アンケート調査報告書

渋川アクティブラーニング型研修 概要

【目的】 渋川海岸における催事創出と研修指導ができる人財を育成する

【カリキュラム】 この研修は、1コマ2時間、合計4コマのカリキュラムです。

- 基礎研修：2コマ（全員参加）
 - ・非認知能力育成プログラム
 - ・プログラム事前研修
- 実践研修：1コマ以上の参加（選択制）
 - ・研修ファシリテーション・プログラム
 - ・イベント・マネジメント・プログラム
- ふりかえり：1コマ（全員参加）
 - ・研修のふりかえりと次年度事業の計画

【スケジュール】

7月18日（火） 19:00～21:00	基礎研修	非認知能力育成プログラム
7月22日（土） 15:00～21:00	実践研修	研修ファシリテーション実習 渋川LOVE & BEACH 2023（イベント）
7月23日（日） 15:00～19:30	実践研修	研修ファシリテーション・プログラム 海ごみ拾いボランティアin玉野（国際交流イベント）
7月28日（金） 19:00～21:00	基礎研修	研修ファシリテーション・プログラム 事前学習 イベント・マネジメント・プログラム 事前学習
8月2～3日（火水）	実践研修	研修ファシリテーション・プログラム ビーチトレーニングキャンプ（玉野高校サッカー部）
8月15日（火） 18:00～20:00	実践研修	イベント・マネジメント・プログラム すなはま運動会
8月26日（土）	実践研修	イベント・マネジメント・プログラム ビーチサッカー大会（ナイター）
9月23～24日（土日）	実践研修	研修ファシリテーション実習 イベント・マネジメント・プログラム 渋川チャレンジキャンプ
10月12日（木） 19:00～21:00	ふりかえり	研修のふりかえり・次年度事業の計画 研修生に終了証の配布

■事業内容1

(1)助成契約書記載の事業内容(予定)

1. プログラム開発
(1)時期: 2023年5月
(2)場所: 玉野市渋川海岸
(3)参加者: 岡山大学、ライフセービングクラブ、教育委員会、高校教員
(3)内容:
a. 子どもの非認知能力を伸ばすアクティブラーニング型プログラム開発
b. 子どもの非認知能力を伸ばすプログラムを実施運営する人材の研修プログラム開発

(2)事業完了時の事業内容(実績)

1. プログラム開発
(1)時期: 2023年5月30日完成
(2)場所: 玉野市渋川海岸にて実践する内容を策定
(3)参加者: 岡山大学: 高岡准教授、岡山大学: 中山准教授、岡山ライフセービングクラブ: 熊澤代表
(3)内容:
a. 子どもの非認知能力を伸ばすアクティブラーニング型プログラム開発
b. 子どもの非認知能力を伸ばすプログラムを実施運営する人材の研修プログラム開発



(3)成功したこととその要因

【成功したこと】
岡山大学の教育有識者と、海辺の安全や一時救命の有識者と共に、渋川海岸におけるアクティブラーニング型の研修プログラムを完成させたこと

【その要因】
各界のトップレベルの方々に、当協会が掲げる2030年までのビジョン(当事業の最終目的)を伝えることで、この海プロ事業に深く共感を頂けたこと

(4)失敗したこととその要因

【失敗したこと】
大学准教授からの要望を受け、教育委員会と高校教員には、プログラム完成後の協力という形になったこと

【失敗の改善策】
申請時に事前に中核となる方々と協議をしておく



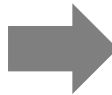
■事業内容2

(1)契約時の事業内容

2. 研修生へのレクチャー
 (1)時期: 2023年6月～10月
 (2)場所: 玉野市渋川海岸
 (3)参加者: 高校生・大学生・一般社会人(20名)
 (4)内容: 事業1(3)bで開発した研修プログラムの指導

(2)事業内容の実施(完了)状況

2. 研修生へのレクチャー
 (1)時期:
 第一回 7月18日(非認知能力)
 第二回 7月28日(イベントマネジメント)
 第三回 10月12日(ふりかえり)
 (2)場所: 玉野市産業振興ビル 3F会議室
 岡山県玉野市築港1-1-3
 (3)参加者: 大学生・一般社会人(計23名)
 (4)内容: 渋川海岸におけるアクティブラーニング型の研修プログラムの実施



(3)成功したこととその要因

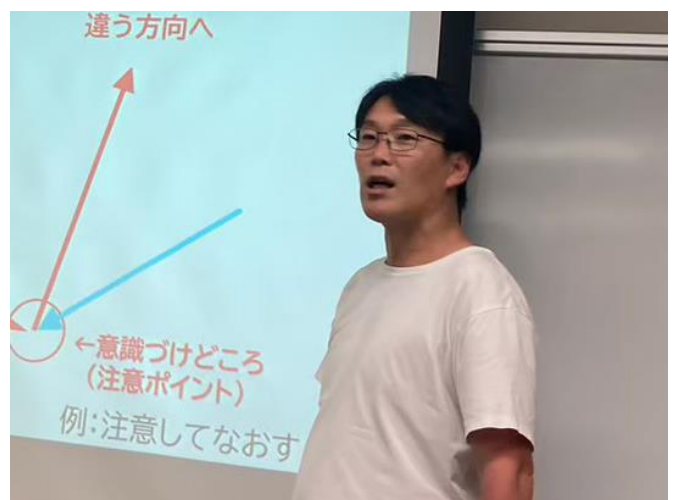
【成功したこと】
 次年度継続を条件に参加者を募集したところ、定員を上回る23名の受講生を獲得できたこと

【その要因】
 これまで多数のイベントを浜辺で開催しており、その関係者からの口コミにより募集から約1週間で定員となった。

(4)失敗したこととその要因

【失敗したこと】
 講師との日程が合わず、基礎研修の前に2件のイベントを先に開催するスケジュールになってしまったこと

【失敗の改善策】
 基礎研修をの日程をイベントが予測される1ヶ月前に設定すること
 講師の日程を4月には調整すること



■事業内容3

(1)契約時の事業内容

3. 研修生によるプログラム企画・実践
 (1)時期: 2023年7月~8月
 (2)場所: 玉野市澁川海岸
 (3)対象: 小中学生2,000名
 (4)内容: 事業2に参加した研修生によるプログラムの計画立案・実践

(2)事業内容の実施(完了)状況

3. 研修生によるプログラム企画・実践
 (1)時期:
 ・7月22日 澁川LOVE&BEACH 2023
 ・7月23日 海ごみ拾いボランティアin玉野
 ・8月2~3 ビーチトレーニングキャンプ
 ・8月15日 すなはま運動会(荒天中止)
 ・8月26日 大学生の考案するBS大会
 ・9月23~24 澁川チャレンジキャンプ
 (2)場所: 玉野市澁川海岸
 (3)来場者: 合計4,989人
 ・澁川LOVE&BEACH 2023 : 約4,800人
 ・海ごみ拾いボランティアin玉野 : 37人
 ・ビーチトレーニングキャンプ : 35人
 ・すなはま運動会(荒天中止)
 ・大学生の考案するBS大会 : 68人
 ・澁川チャレンジキャンプ : 49人
 (4)内容: 研修生によるイベントの計画立案・実践



(3)成功したこととその要因

【成功したこと】
 合計海岸来場者: 約4,989名が海のイベントに参加してもらえたこと
 研修生が計画・企画・開催したイベントを5件も実施できたこと

【その要因】
 主体性ある研修生に実権を与え、有識者は口出しを極力しなかったこと

(4)失敗したこととその要因

【失敗したこと】
 研修生が考えた「すなはま運動会」の開催日が荒天となり、振替日を設定していなかったことから、計画期間内に実施不能になってしまったこと

【失敗の改善策】
 有識者の口出しを極力しないという方針の中でも、押さえるべきポイントは策定し、事前にヒアリングから導いてあげること



各研修の次第

中山芳一先生 講演 次第

令和5年7月18日 19:00～
場所：玉野産業振興ビル
3F 技術研修室

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 研修プログラム概要説明
4. 中山先生講話
講演：【非認知能力を高めるには】
5. 質疑応答
6. 自己分析・行動計画
7. 次回日程の確認
8. 閉会

中山准教授 講演次第

高岡敦史先生 講演 次第

令和5年7月28日 19:00～
場所：玉野産業振興ビル
3F 技術研修室

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 研修プログラム概要説明
4. 高岡先生講話
講演内容：前半 研修ファシリテーション・プログラム事前学習
後半 イベント・マネジメント・プログラム事前学習
5. 質疑応答
6. 次回日程の確認
7. 閉会

高岡准教授 講演次第

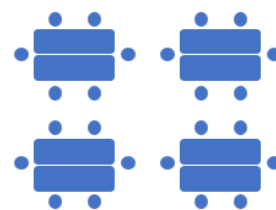
ふりかえり研修 次第

令和5年10月12日 18:00～
場所：玉野産業振興ビル
3F 技術研修室

1. 開会
2. 主催者挨拶
3. 高岡先生より振り返りのポイント
4. 中山先生より振り返りのポイント
5. 事業報告
 - (1) 岡田 渋川チャレンジキャンプ 報告
 - (2) 江口 大学生が考えたBS大会 報告
 - (3) 石堂 渋川国際交流事業 報告
 - (4) 荒井 玉野高校 BTG 報告
 - (5) 安藤 すなはま運動会（延期）報告
 - (6) 安原 渋川 LOVE&BEACH 報告
6. グループディスカッション
「次年度にやりたい事業」
7. 高岡先生挨拶
中山先生挨拶
8. 閉会



本日の資料



入口

会場レイアウト

【会場】

玉野産業振興ビル 3F会議室

【所在地】

〒706-0001

岡山県玉野市築港1-1-3

ふりかえり研修 次第

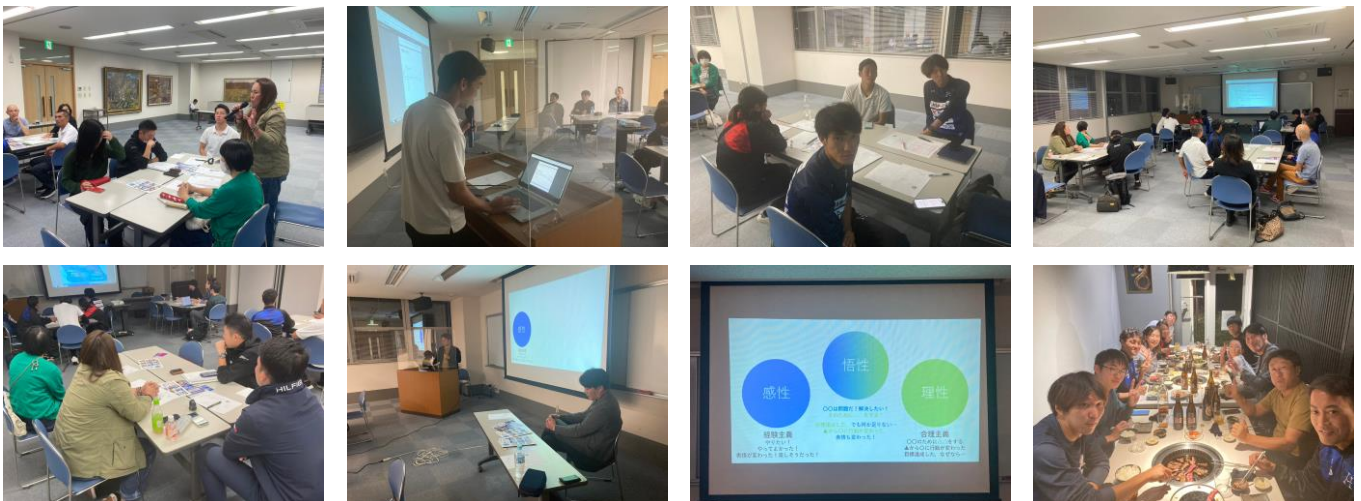
7月18日 基礎研修



7月28日 基礎研修



7月28日 ふりかえり研修

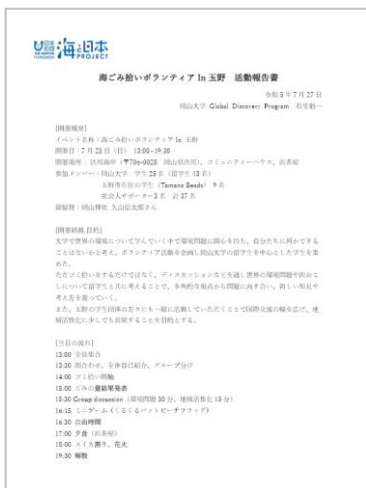


研修生が作成したイベント報告書（※ 別途提出）



ビーチトレーニング合宿報告書

大学生が考案したビーチサッカー大会報告書



国際交流事業報告書

すなはま運動会報告書



渋川LOVE&BEACH 2023 報告書

瀬戸内チャレンジキャンプ報告書

【目標達成状況】

1. 海の研修プログラムの開発（2と共通）

2. 海の研修プログラムの実施

- ・参加者 定員20名の確保（次年度継続参加必須）

➡ 達成 23名

- ・参加者満足度 80%以上（アンケート調査）

➡ 未達成（5段階評価：4以上 78.3%）

- ・海への関心度 80%以上（アンケート調査）

➡ 未達成（5段階評価：4以上 77.3%）



3. 研修生によるイベントの開催

- ・海岸来場者 2,000名以上

➡ 達成（合計4,989人：達成率249%）

- ▶ 渋川LOVE&BEACH 2023 : 約4,800人
- ▶ 海ごみ拾いボランティアin玉野 : 37人
- ▶ ビーチトレーニングキャンプ : 35人
- ▶ すなはま運動会（荒天中止）
- ▶ 大学生の考案するBS大会 : 68人
- ▶ 渋川チャレンジキャンプ : 49人

- ・参加者満足度 80%以上（アンケート調査）

➡ 未達成（5段階評価：4以上 77.7%）

- ・参加者の海への関心度 80%以上（アンケート調査）

➡ 未達成（5段階評価：4以上 59.2%）

- ・メディアによるイベントの記事化1記事以上、放映2局以上

➡ イベント記事：2件 放送：0件（海プロ以外での放送2件）



【メディア掲載】

第3種郵便物認可

山 陸 乗 舟 月 刊

2023年(令和5年)10月2



「渋川をビーチスポーツで若者が集う海岸にしたい」と語る安原さん

第1部 このまちに生きる ③ ふるさと点描 岡山学 33

「渋川マリンアクティビティ協会」代表理事・安原賢一さん(43)

玉野 ビーチスポーツの聖地に

「波は穏やかで起伏が少なく、砂質も柔らかい。渋川はスポーツやレジャーに最高で、周囲の関係者にも好評だった」。さらなる発展を目指すシンボルとなる社会人チーム「レクテオ岡山」を結成、ビーチスポーツ全般の普及を図る「おかもまビーチスポーツ協会」も発足させた。19年設立の一般社団法人渋川マリンアクティビティ協会は、ハレクテイオの運営とともに、子どもに自然の大切さを伝え、「ミニユニケーション力」を高める「すなはま運動会」や「瀬戸内チャレンジキャンプ」などを開く。

「波は穏やかで起伏が少なく、砂質も柔らかい。渋川はスポーツやレジャーに最高で、周囲の関係者にも好評だった」。さらなる発展を目指すシンボルとなる社会人チーム「レクテオ岡山」を結成、ビーチスポーツ全般の普及を図る「おかもまビーチスポーツ協会」も発足させた。19年設立の一般社団法人渋川マリンアクティビティ協会は、ハレクテイオの運営とともに、子どもに自然の大切さを伝え、「ミニユニケーション力」を高める「すなはま運動会」や「瀬戸内チャレンジキャンプ」などを開く。

「育みたいのは「夢を持ち、形にする力」。それは若き日の思いを胸に走り続ける自身とも重なる。「渋川をビーチスポーツの聖地に」。道半ばだが、必ず成し遂げます」と誓った。(矢吹喜一期)

砂浜には無限の可能性が広がっている。海水浴は当然、バレー、サッカーなどのビーチスポーツにヨガ、フィットネスといった健康づくり、キャンプ、生動物観察。二年を通じて人が集い、笑顔あふれる海岸にしたい。安原さん。玉野市御崎は20年近く、渋川の魅力を発信し続ける。原厚は大学時代に魅了されたビーチサッカーだ。「ロケーションがよくなる」。砂の上なのでアクロバティックなプレーもできる。2006年に渋川でも大会を始め、14年には実行委の一人として全国大会開催に尽力した。

第3種郵便物認可

山 陸 舟 月 刊

玉野

渋川海岸で「瀬戸内チャレンジキャンプ」

海辺でのキャンプやマリンスポーツを通してコミュニケーション力や社会性を育み、環境保全の大切さなどを学ぶプログラム「瀬戸内チャレンジキャンプ」の第1回が24、25日、玉野市渋川の渋川海岸で開催された。(矢吹喜一期)

シーカヤックやSUPに挑戦する参加者ら



協力してカレー作りに取り組む子どもたち

自然守る大切さ 友達づくり学ぶ

海のレジャー、調理体験 第2回

同海岸一帯の活性化に取り、県内の小学1年〜中学2年生、組む渋川マリンアクティビティと保護者ら計48人が参加した。イ協会が、国立青少年教育振興機構の「子どもゆめ基金助成活動」の支援を受けて主催。25日は「岡山ライフセービングクラブ」代表の熊沢一彦が、海ごみについて学び、カレー作りや夜には海ホテルを体験した。

さんらが講師となり、参加者はボードに立ってパドルをこいで進むスタンドアップパドルボード(SUP)やシーカヤックに挑戦。乗った、これからはいろいろな方々、スピードを上げた。第2回は9月23、24日に予定し、参加者を募集中。参加費は小学1年〜高校生1万2400円、保護者1万7千円、定員計40人。申し込みはスタッフの岡田博美さん(080-1900-7000)かメール(8tochale@gmail.com)。

【テレビ取材】



K S B 瀬戸内海放送
知っとかナイト！
放送日：2023年10月6日



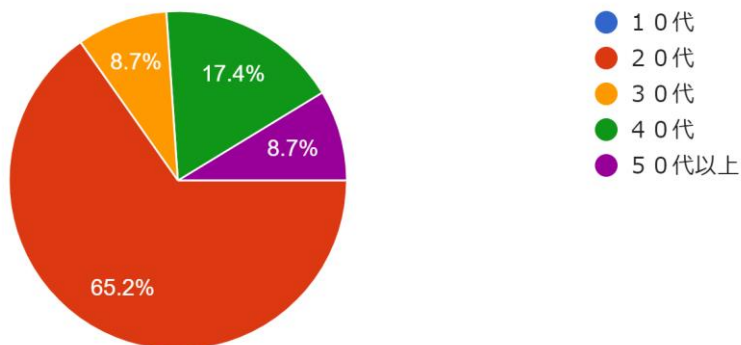
K S B 瀬戸内海放送
高校生と見つける、私たちのSDGs
舗装予定日：2023年12月31日～1月



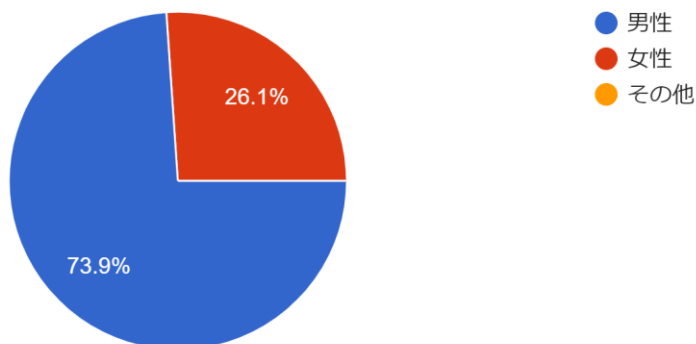
※ この2件は、直接イベントの取材ではありませんでしたが、海プロをきっかけに出演が増えました。

アンケート調査結果：研修生23名

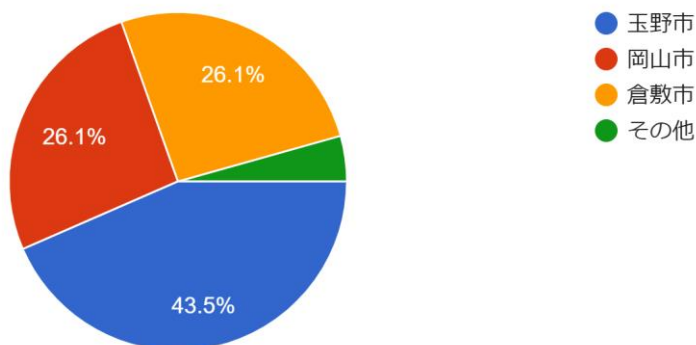
年齢を教えてください。
23件の回答



性別を教えてください。
23件の回答

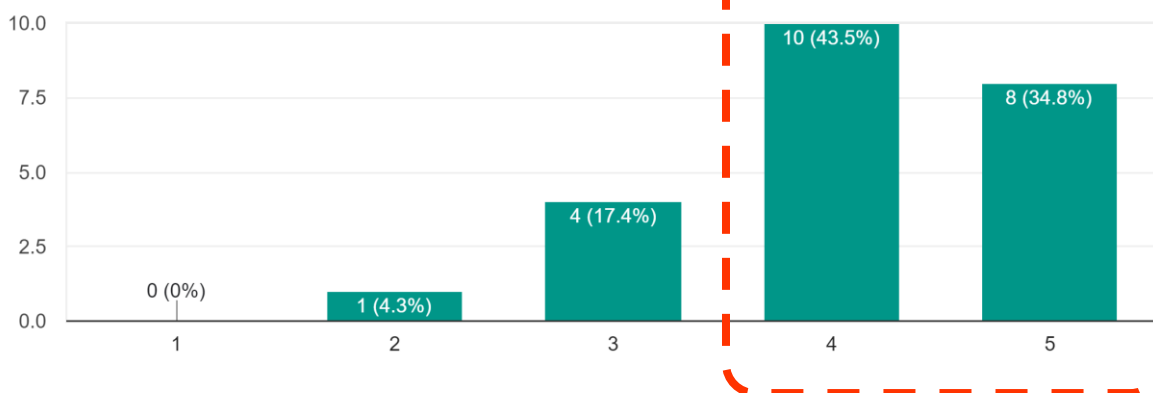


お住いの地域を教えてください。
23件の回答



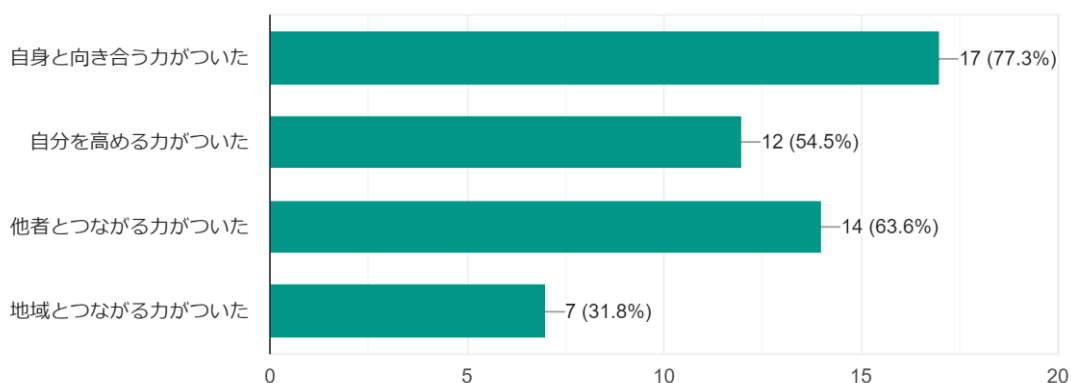
研修を受けて自身の成長への満足度はどうですか？

23件の回答



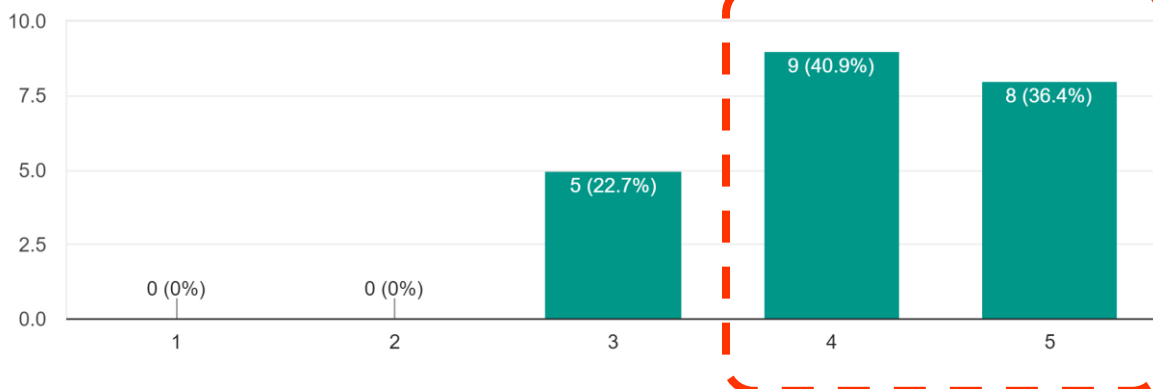
その理由を教えてください。 ※複数回答可

22件の回答



研修を受けて海への関心度は高まりましたか？

22件の回答



アンケート調査結果：研修生23名

研修について良かった点や改善点、感想などをコメントをお願いします。

- ビーチスポーツの経験は最高で、新しい友達と協力してプレーすることができました。音楽との調和も素晴らしく、アクティビティがバランスよく組みまれていたと思います
- イベント全体の雰囲気がとても良かったです。ビーチスポーツの興奮と、音楽と食べ物の美味しさが素晴らしい調和を生んでいました。これからもこういった研修があれば参加したいと思います。
- この研修で、ビーチスポーツとマルシェ、音楽という異なる要素が見事に組み合わせられ、参加者同士の交流が促進されました。楽しいだけでなく、学びも得られる研修でした。
- ビーチスポーツの楽しさと、その後の美味しいマルシェが印象的でした。ただし、イベントエリアの案内がもう少し詳細だと良かったです。
- 研修は期待以上でした。実施したイベントは、澁川LOVE&BEACHですが、ビーチでのアクティビティと音楽、そして美味しいマルシェ。心身ともにリラックスでき、素晴らしい体験ができました
- 澁川チャレンジキャンプの健康管理として、子供たちの健康状態を見守り、万が一の時のファーストエイド対応も行いました。子供たちが安心して楽しめるように心掛けました。また、澁川海岸の生態系や植物について子供たちに教えることができ、彼らが自然とのつながりを感じる手助けができたことが嬉しかったです
- 水上アクティビティの安全管理は特に気を使いましたが、全てが安全に行われ、子供たちが自然を楽しむ様子が微笑ましかったです
- シーカヤックやサップを通して、子供たちが自然環境をより深く理解できたことが感動的でした。自然と触れ合うことで、学びと感動が広がりました

- イベントマネジメントは初めてでしたが、基本的なフレームワークやステップが分かりやすく説明されており、非常に有益な時間でした。”
- 座学で学んだイベントマネジメントのスキルは、チーム全体でのコミュニケーションや計画の立て方において非常に役立ちそうです。
- ストレス管理や協力を高めるトレーニングは、イベントの開催においては不可欠なものでした。実践的で将来にも活かせる内容でした。ありがとうございました。
- 非認知能力を高める研修は、イベントの成功においても非常に重要なポイントであることを再認識しました。意欲的に取り組むことができました。
- 渋川チャレンジキャンプでは、子どもたちが海ホタルの講座で、初めて見る光り輝く生き物に大興奮。その驚きと喜びの表情が、イベントの成功を象徴していました。子どもたちの無邪気で喜びに満ちた姿が見れて良かったです。来年もよろしくお願ひします。
- チャレンジキャンプの担当をさせて頂きました。シーカヤックやサップを通して、子供たちが自然環境をより深く理解できたことが感動的でした。自然と触れ合うことで、学びと感動が広がりました。水上アクティビティがキャンプイベントに加わり、子供たちとスタッフが一緒になって自然での楽しみを共有できたことが、感動的な時間となりました。企画制作から関わられて楽しかったです。ありがとうございました。
- ビーチサッカーイベントを運営しました。初めての経験で、ビーチサッカー自体はすごく楽しかったです。ルールの説明がもう少し分かりやすくされていれば、初めての参加者ももっと楽しめたかもしれません。特にルール説明が分かりやすい形で行われると、全体の理解が深まるのではないのでしょうか。また来年が楽しみです。
- 研修は楽しく充実していましたが、参加者同士の交流がもう少し増えれば、より有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。

- 自分はビーチトレーニング合宿をしましたが、もう少し参加者同士の交流を促進する内容があれば、より一体感が生まれたのではないかと感じます。次は、音楽系のイベントを海でしたいです。
- 渋川チャレンジキャンプでは自然体験から、海について学ぶことができ、特に海ホテルの講座は心に残りました。参加者よりも感動してたかも…。来年も是非参加したいです
- ビーチトレーニング合宿を企画しました。夜に行った座学の夢育プログラムは、参加者たちが自分の夢を見つめ直すだけでなく、それを実現するためのスキルや計画の立て方も学べました。
- ビーチトレーニングでは、参加者たちが砂浜での負荷のかかった運動でしたが、モチベーション高く皆で声を掛け合って最後まで奮闘していました。主催側で教える立場だったのですが、自分が一番勉強になったと感じています。ありがとうございました。
- ビーチサッカー大会に司会として参加しました。各アクティビティの計画と実行が素晴らしかったです。もう少しイベント全体のテーマやメッセージがもっとクリアになっていれば、参加者がより共感しやすかったのではないのでしょうか。
- プログラム中でのグループワークや話し合いにより、協力とチームワークの重要性を理解しました。他者と協力して目標に向かって進むことで、個々の能力を最大限に発揮し、より良い成果を生み出すことができるのだと勉強になりました。
- 新しい海岸利用促進として、音楽やマルシェイベントを行うことで、たくさんの来場者が海に来る流れができたのが嬉しかったですし、キャリアアップの自信に繋がりました。
- 学びとしても、自分のリーダーシップや仲間のフォロワーシップが試され、個人としてはもちろん、組織としての学びにもなりました。このような実践型の研修を学校でも取り入れたら面白いと思います。ぜひ、来年もよろしくお願い致します。今から海のイベント構想を練っておきます。

研修プログラム実施完了のお礼

研修プログラムが無事に終了できたことに、またイベントを通じて、多くの方々から温かいご支援があったことに、心より感謝申し上げます。

お陰様で、素晴らしい経験と学びの機会を提供でき、研修生たちが充実した時間を過ごすことができました。

これも地域の協力とご理解があっこそ、この研修プログラムが成功裡に進行できたと感じております。皆様の温かいサポートがなければ、ここまでの成果を上げることはできませんでした。

これからも、私たちは地域との協力関係を大切にし、より良いプログラムやプロジェクトを展開してまいります。

今回の事業成功は、私たちにとって大きな励みとなり、これからの活動に新たな力になることを期待しております。

最後に、心からの感謝の気持ちをお伝えいたします。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

誠にありがとうございました。

2023年11月15日

一般社団法人
澁川マリンアクティビティ協会
代表理事 安原 賢一

